

2日目 14:00～15:00〔60分〕

## 【講義】 構造化の基礎

国立のぞみの園 山田美希

この時間は、構造化の考え方・基礎について学びます。

強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】受講者用テキストに沿っておこないます。

# 構造化とは

---

- ▶ 今何をする時間か、  
次にどうなるのかなど、  
活動や世の中のことのしくみなどを、  
その人に分かりやすく示す方法

# 構造化は特別なものか？

- ▶ 私たちも日々構造化された社会の中で  
生きています

# 自閉症の人が理解するための6つの情報

---

- ① どこで (Where) 物理的構造化、等
- ② いつ (When) スケジュール、等
- ③ 何を (What) ワークシステム・視覚的構造化、等
- ④ どのくらい？いつまで？ (How much) ワークシステム・視覚的構造化、等
- ⑤ どのようなやり方で (How to do) ワークシステム・視覚的構造化、等
- ⑥ 終了を理解、次に何をすればいいのか (What's next) ワークシステム

これらについて、その人に合うかたちを吟味し、  
構造化していく

# どうして構造化するのか

---

## 自閉症の人に対して・・・

- ▶ 理解をサポートする
- ▶ 混乱を未然に防ぐ
- ▶ 自立するために、自分で行動するのを助ける
- ▶ 視覚的の手がかりを使って、適切に情報に焦点をあてるのを助ける
- ▶ 情報に注意集中し、効率的に学習する手助けをする

分かりやすくする → すべき行動を理解できる

→ ストレス・混乱が減る → 不安を感じなくて済む

→ 問題行動を起こすことが減る

# 勘違いされやすい構造化

- ▶ 全てにおいて仕切りを置けばよい？
- ▶ 皆に同じスケジュールを用意する？
- ▶ 単に、場所を色分けすれば皆が理解できる？
- ▶ 皆同じ課題を用意すればよい？・・・他



同じように、見えても一人ひとりにあった工夫がされている  
(仕切りの高さ・スケジュールの内容・置かれている物等)



# 構造化の技法

---

- ①物理的構造化
- ②スケジュール
- ③ワークシステム
- ④決まった手順や習慣
- ⑤視覚的構造化



# 物理的構造化

---

## ▶ 部屋や作業所などの、家具・使用する物などの配置

### \* 物理的、視覚的に分かりやすい境界を作る

- ・棚、家具の配置
- ・じゅうたんや床材の色分け
- ・間仕切りカーテン・・・他

### \* 活動と場所の1対1の対応

- ・遊びや休憩の場所
- ・作業（自立課題）の場所
- ・おやつ、食事の場所
- ・トランジションエリア（スケジュールの提示場）・・・等

### \* 妨害刺激の除去

- ・不要な物を片付ける
- ・空間の調整・遮断
- ・音や光、周囲の動き、時計の置き場所・・・等



# スケジュール

---

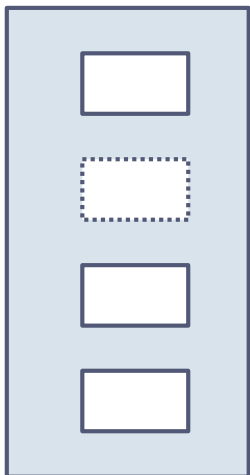
- ▶ どんな活動があるのか、その流れがどうなっているかを、視覚的に示す方法

## \* 個別化

**一人ひとりにあったものを作る事が大事！**

- 無理のあるスケジュールは続かない
- 本人の理解力、生活ペース、行動範囲等を考慮する
- 他の人にあわせるためのものではない、本人が理解するため

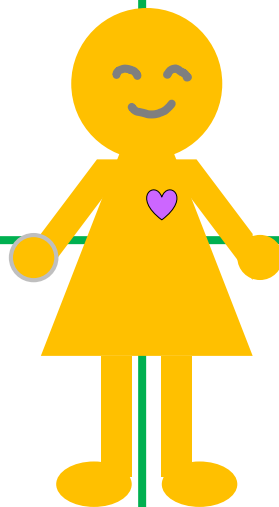
次の行動のみを提示



どのようなものが  
一番わかりやすい・・・？



絵カードと文字の  
スケジュール

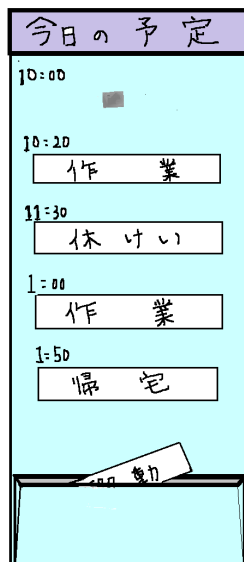


文字のスケジュール

終わったカードは下に  
入れる

→次の行動へ移る  
ための切り替え

トランジションエリア  
などでも活用



文字のリスト

一日のスケジュール		
0:00 くらい	20分	作業所へ移動
0:20 くらい	40分	作業(ピッキング)
1:30	20分	休憩(好きなゲーム)
1:50	60分	昼食
5:00 くらい	20分	寮へ移動
0:00		就寝

予定が変更する事があります

# スケジュール

\* スケジュールの種類 (どうやって伝えるか?)

- ・実物
- ・絵や写真などのカード
- ・絵と文字などの組み合わせ
- ・文字のカード (単語)
- ・文字のリスト (文章)



どれを使うとその人が理解しやすいかを考える!

# スケジュール

---


\* スケジュールの長さとは？

- ・ 次の行動だけ
- ・ 2 個、3 個、いくつか……
- ・ 半日
- ・ 一日
- ・ 1 週間……


どれくらい先の見通しが立っていれば安心できる？




おわりのあいさつ

① 


かだい

② 


すきなもの

③ 

あそび

④ 

はじめのあいさつ

⑤ 

あいさつ

1 

かだい

2 

おやつ

3 

きらきら

4 

あいさつ

5 



### 6月 スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3  ゆうえんち に いく	4	5	6
7	8  かみ を きる	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21  おかあさん と げすと ほろす	22	23	24  まくだなご に いく	25	26	27
28	29	30  こちんをもらう				

8

6月 25 = 3 オ 5 = 2

おきる	でんきをつける	ばじやまのせんたく	せんたくものをしまう	お風呂のういをする	ごはん	おちや
8:50	さぎよう	ばじの車をほす	すまいるにいく	でんきと えぬこんをけす	かわせみにかえる	おちや
9:40	11:15	11:45	12:30	13:40	15:15	15:30
15:40	16:10	16:30	17:30	17:50	20:00	20:15
21:00	21:30	21:35				

山田 たろう

平成27年 〇月 〇日 (火)

じゅんばん	すること	チェック
①	はじめのあいさつ 	
②	おはなし 	
③	べんきょう 	
④	あそび 	
⑤	おわりのあいさつ 	

きょう じかん じ ぶん  
\*今日のおわりの時間は3時00分です。

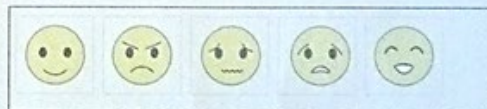


なまえ  
名前

へいせい ねん がつ じち びつ  
平成27年 月 日 ( )曜日

やること	シール
① はじめのあいさつ	
② お話	
③ 絵を見て考えよう(SST)	
④ 工作	
⑤ 遊び	
⑥ おわりのあいさつ	

\*いまのきもちを?



\*感想

.....



# ワークシステム

---

## ▶ 自立的活動をするための情報を伝える方法

\* 自立的に活動するために

『自閉症の人が理解するための6つの情報を伝える(スライド5)』

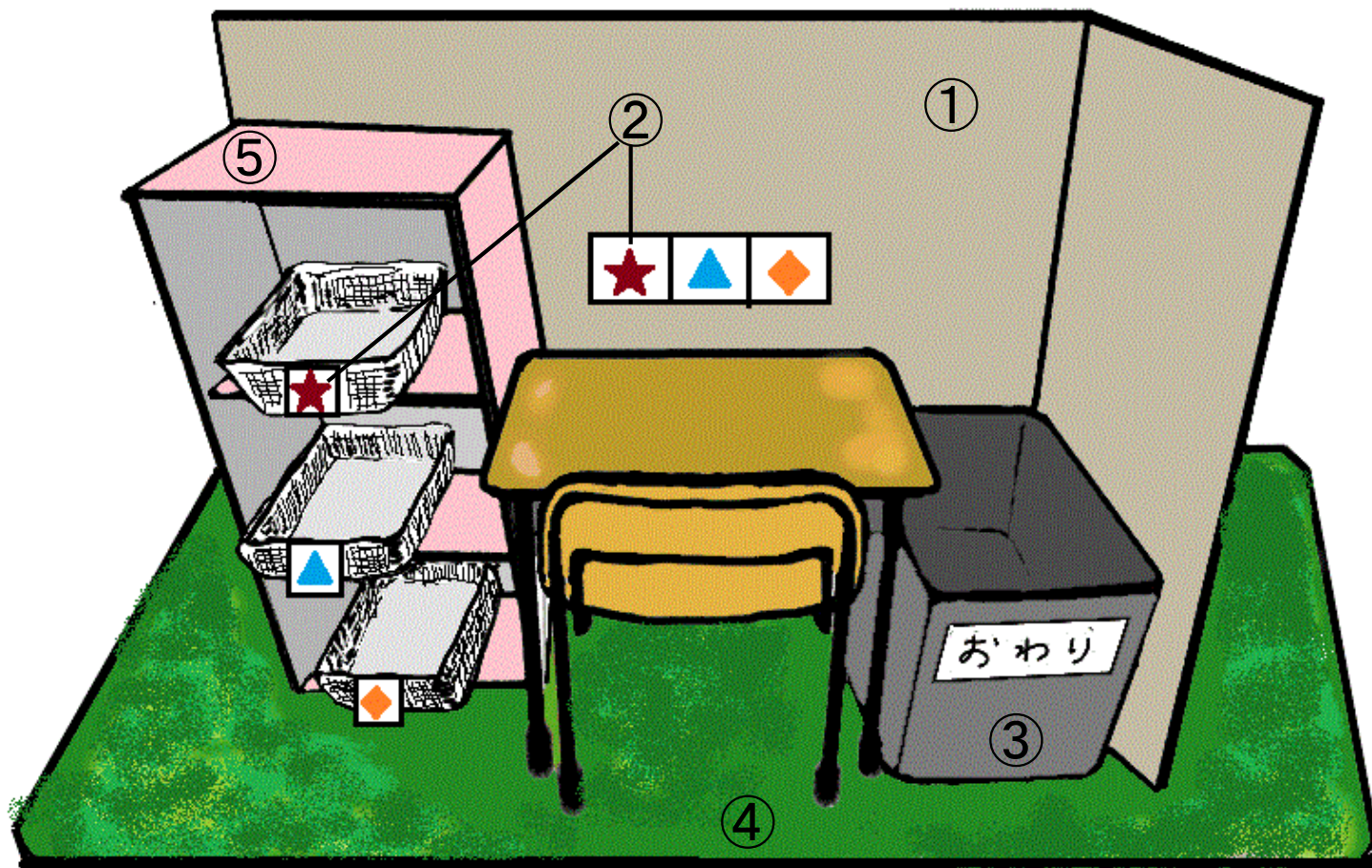
(「何を」「いつまで」「どのようなやり方で」「終わったら次に何をするか」)

\* ワークシステムの種類

- ・実物を並べる
- ・マッチングを使う(絵・形・文字・絵・記号など)
- ・リストを使う(単語や文章)
- ・フィニッシュボックスの使用(終了箱)
- ・時には、本人の興味があるものやキャラクター等を使う



# ワークシステムの一例



① 間仕切り用パーティション

② ワークシステム（形カードのマッチング）

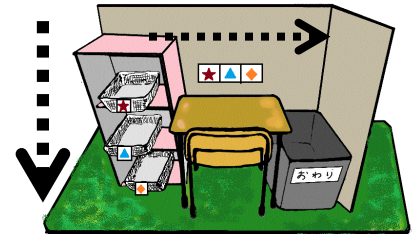
③ フィニッシュボックス

④ 色分けされた床（敷物）

⑤ 課題や作業の材料棚・材料かご

# ルーティーン（習慣化）

- ▶ いつも、同じ手順で課題を行う  
→上から下へ、左から右へ



- ▶ 習慣化することで、普段の生活を安定したものにする

例 1) ガンダムのフィギアを棚から出す  
→見て余暇を過ごす →棚に戻す

例 2) 鼻をかむ →ゴミ箱に捨てる



- ▶ ルーティーンを使って繰り返しているうちに学習する

# 視覚的構造化

---

▶ システムは“目で見える形”にして理解しやすく

## \* 視覚的提示

→課題を達成するための流れを視覚的に示す

絵や写真による指示 ・ 出来上がりの見本 ・ 作業手順書・・・他

## \* 視覚的明瞭化

→重要な情報を視覚手的に強調する

色やマークを付ける ・ 作業や休憩所などの場所を区切る

作業をマスターするために、汚れなどをさらに明確にする・・・他

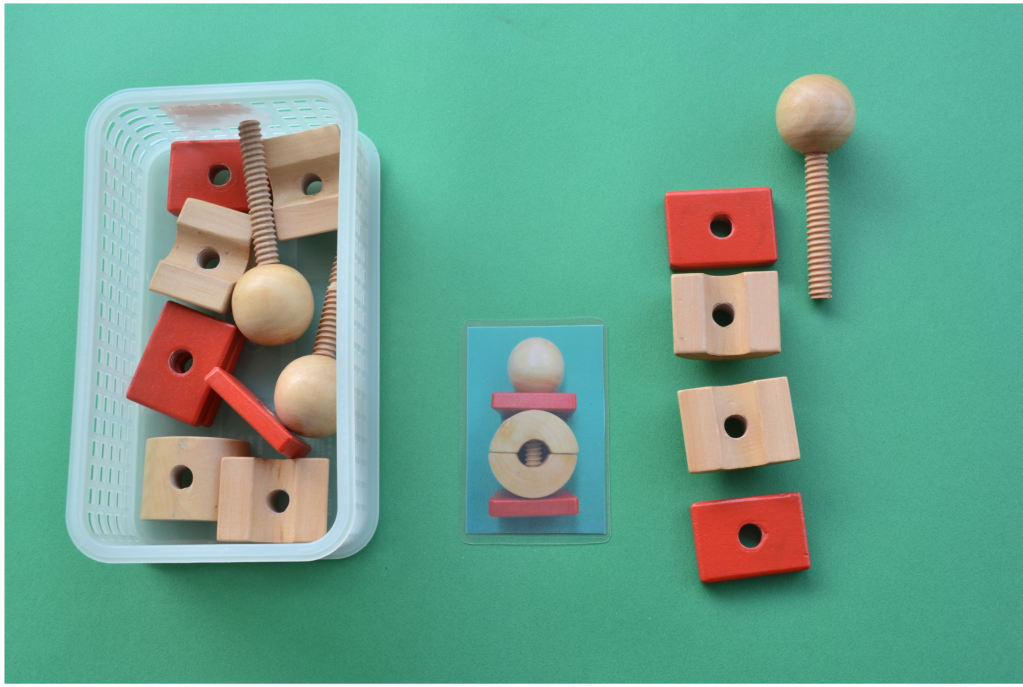
## \* 視覚的組織化

→材料や空間を組織する

左から右へ、上から下への手順

カゴの有効活用（材料などを容器に入れ分ける）・・・他









# 構造化を行うためのアセスメント

---

- ▶ 無理のない、楽しめる、機能的な内容を「効率的な」方法で構造化していくためにアセスメント（評価）は欠かせない

## \* 注目点 1

本人に出来そうな事・作業等の取り組み方  
集中できる時間・気の散りやすさ・・・他

## \* 注目点 2

活動水準・現在もっているスキル・興味  
変化への抵抗・移動への不安の強さ  
言葉の理解度・説明の困難度・・・他

# 構造化の基本

---

アセスメント : 行動観察して仮説を立てる



構 造 化 : 安心できる環境の構造化



再アセスメント : 再び行動観察して仮説の検証



再 構 造 化 : 本人の特徴により合った構造化



再々アセスメント

・・・繰り返していきながら

安心して生活できる環境を作る

# 自立課題

## 自立課題を通じて

- ▶ その人の持っているスキルを知る
- ▶ その人の持っているスキルを伸ばす
- ▶ 自信を持って行う時間を増やす
- ▶ 作業を意識して、課題を作ってみる
- ▶ 課題をつくりながら、作業種を考えてみる

# いろいろな自立課題

## ① マッチング

- ・色、形、大きさ
- ・文字、単語、言葉
- ・手触り
- ・欠けている物
- ・異なる形の属性
- …他

## ③ 事務仕事

- ・紙を折る、封筒に入れる
- ・ファイリングをする
- ・あいうえお順に並べる
- ・住所ラベルを張る
- ・ワープロを使う
- …他

## ⑤ 読み

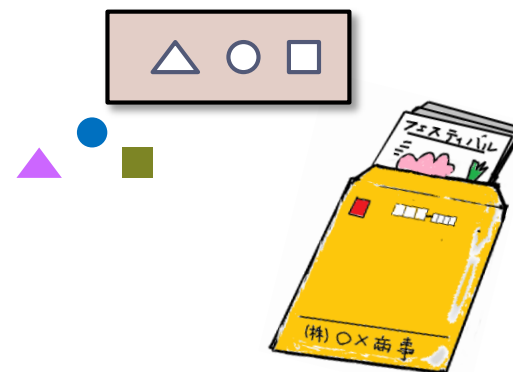
- ・文字を合わせる
- ・絵と物と文字を合わせる
- ・自分の名前の認識
- ・メニュー・電話帳
- …他

## ② 組み立て

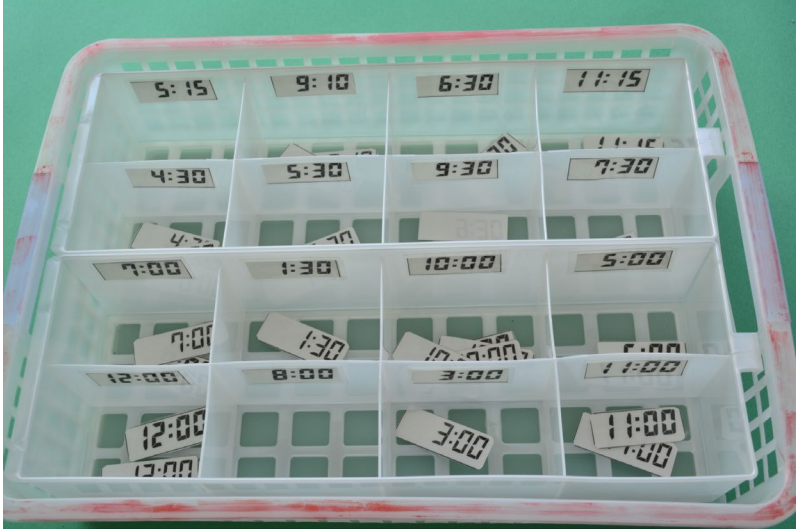
- ・押す、ねじる、はめる
- ・ねじまわし
- ・工具を使う
- …他

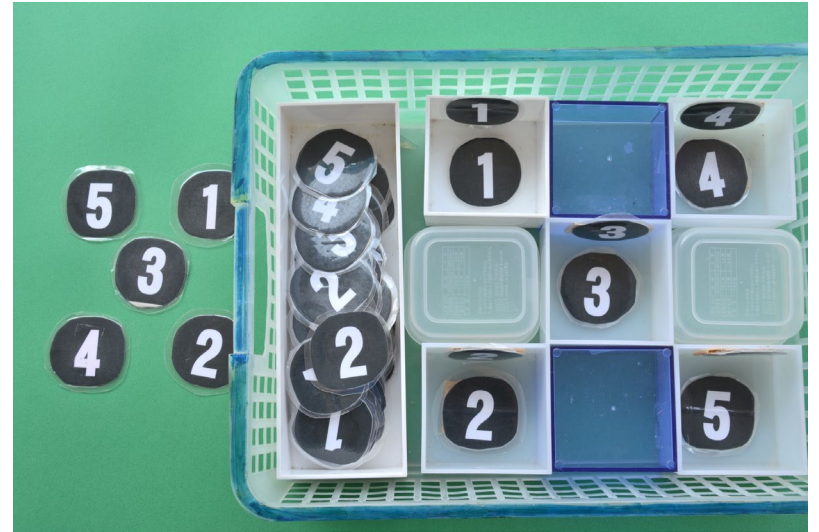
## ④ 計算

- ・かぞえる
- ・数字順に並べる
- ・計算する
- ・計算機
- …他











# 最後に

▶ 知るだけでなく、実践を重ねましょう。

▶ 参考図書

- ◇ 「親と教師のための自閉症の人がみている世界  
自閉症の人を正しく理解する 1～3巻 DVD 」  
(発行：朝日新聞厚生文化事業団)
- ◇ 「自閉症の人が求める支援  
よくわかる自立のためのアイデア 1～3巻 DVD 」  
(発行：朝日新聞厚生文化事業団)
- ◇ あきらめない支援 (発行：のぞみの園)